

●数値目標

番号	項目	初期値	目標値	所管課	数値目標の設定理由	目標値の設定根拠
【1】	市内農業産出額（万円）	66,000 (2018年度)	68,000	農政課	豊かな農地が維持され、農業が活性化している状況を反映するものであるため。	新規就農などの支援や法人等へ農地の集約を進めることで、3%程度の増加を目標とする。
【2】	年間商品販売額（卸売・小売業）（億円）	1,488 (2016年度)	1,698	産業振興課	年間商品販売額により市内商業の景気動向を図ることができる。年間商品販売額を向上させる施策を進めることで、市内商業の活性化を促進し、雇用を支え、にぎわい・活力が生まれるまちになると考えるため。	10年間で約10%（15億円/年の増）の成長を目標とする。
【3】	製造品出荷額（億円）	1,126 (2019年度)	1,179	産業振興課 企業誘致室	製造品出荷額により市内製造業の景気動向を図ることができる。製造品出荷額を向上させる施策を進めることで、市内工業の活性化を促進し、雇用を支え、にぎわい・活力が生まれるまちになると考えるため。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済回復の見通しを鑑みて、2025年度に現状値まで回復と予想。その後は、0.9%/年の増を目標とする。
【4】	日進市がにぎわいのあるまちと感じる市民の割合（%）	35.8 (2020年度)	41.8	産業振興課	観光誘客やイベントにより、日進市がにぎわいのあるまちと感じる市民の割合の向上は、雇用を支え、にぎわい・活力が生まれるまちを創ることにつながるため。	市民意識調査（2018年度→2020年度）と同程度の伸び率が10年間継続した値を目標とする。

●施策3-1、3-2：重要業績評価指数（KPI）

施策	番号	項目	初期値	目標値	所管課	KPIの設定理由	目標値の設定根拠
3-1	①	農業の活性化対策に対する満足度（%）	37.3 (2020年度)	43	農政課	満足度の状況で農業者への支援の有効性が測られ、ひいては農業の活性化の状況を測ることができるため。	2020年度の初期値を踏まえて、5%程度上昇できるように目標を設定する。
	②	働く場や機会に対する満足度（%）	17.2 (2020年度)	22.5	産業振興課	働く場や機会に対する満足度の向上は、市内の雇用を支え、にぎわい・活力が生まれるまちを創ることにつながるため。	初期値が低いが、コロナ禍の影響もあり、短期間で大きく伸びるとは考えにくく、10年間で約5%（0.5%/年の増）の向上を目標とする。
3-2	①	観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光入込客数）（人）	502,960 (2019年度)	1,019,000	産業振興課	客観的に日進市の観光客の流入数を計ることができるため	既存資源の活用により、1,000人/年の入込客の増加を目標とする。また、道の駅開駅により入込客の増加（2025年 600,000人、2030年 780,000人）を目標とする。
	②	にっしん観光まちづくり協会における観光商品の造成（件）	2 (2019年度)	4	産業振興課	観光商品の造成を行うことで、日進市内への観光客の増加に繋がるため	まちミルのような定番プログラム、単発イベント的な観光プログラム、泉流のような特産品等の開発・造成を行っていくため、新たな商品を2つ開発することを目標とする。

●主な事業（施策3-1）

番号	事業名	所管課	事業内容	数値目標又はKPIに資する理由		数値改善のための取組や道筋
1	田園フロンティアパーク推進事業	農政課	後継者や新たな担い手を育成するため、日進アグリスクールにおいて、幅広い世代に学びの機会を提供します。また、民間活力を活用した市民農園の整備、運営を支援します。さらに、農業に参入する多様な主体、人材に農地を仲介する等、支援します。	数値目標	農業の担い手を育成するとともに、新たな担い手と地権者とのマッチングを支援することで、農地の活用推進、農業の活性化を図ることができ、3の目標に資する。	市内及び近隣市町から広くアグリスクールの受講者を集め、農業の担い手を確保するとともに、担い手ごとの農地利用のニーズに応じて、地権者とのマッチングを丁寧を実施することで、指標の数値が改善すると考える。
				KPI	農業の担い手を育成し、担い手に農地を仲介することは、活性化対策の柱の一つであるため、3（施策3-1）の指標に資する。	
2	農業経営者支援事業（農地中間管理事業）	農政課	5年後から10年後までを見据え、遊休農地等の情報を収集することによって、認定農業者や農事組合法人等への利用集積を促進し、農業委員会・あいち尾東農業協同組合や農地中間管理機構と連携した、効率的かつ安定的な農業経営支援を進めます。	数値目標	本市の農業の中核を担う認定農業者や農事組合法人等へ農地の利用集積を図ることで、営農効率の向上、営農規模の拡大につながり、3の目標に資する。	認定農業者や農業法人等への農地の利用集積について、農業委員会・あいち尾東農業協同組合、農地中間管理機構及び地域の営農組織等とさらなる連携を強化することで、指標の数値が改善すると考える。
				KPI	本市の農業の中核を担う認定農業者や農事組合法人等へ農地の利用集積を図ることは、活性化対策の柱の一つであるため、3（施策3-1）の指標に資する。	
3	農業経営者支援事業（新規就農者及び認定農業者育成事業）	農政課	新規就農者、農家の後継ぎや認定農業者の発掘・育成と経営近代化のための資金支援や農業用機械・施設取得支援等、各種支援を行うことにより、農業経営体の強化に努めます。	数値目標	新規就農者等の支援、認定農業者や農業法人等に農業用機械の導入支援等を行うことで、農業者の増加、営農効率の向上、営農規模の拡大につながり、3の目標に資する。	新規就農者等に対する農業経営を行いやすい環境整備を強化し、また、法人等に対する農業用機械の導入支援等をより効果的に実施することで、指標の数値が改善すると考える。
				KPI	新規就農者等の支援、認定農業者や農業法人等に農業用機械の導入支援等を行うことは、活性化対策の柱の一つであるため、3（施策3-1）の指標に資する。	
4	農業経営者支援事業（地産地消推進事業）	農政課	地産地消を推進するため、保育園や学校給食で日進産農産物の利用を進めるとともに、多くの市民が日進産農産物を消費するよう推進します。また、農業者と市内スーパー、コンビニ、飲食店等とのマッチングを進め、旬野菜や本市の特性に合った農産物の販路を拡大し、農業生産及び農業収益の向上を図ります。	数値目標	地産地消を推進するため給食などでの日進産農産物の利用を進め、また、農産物の販路を拡大することで、農業生産及び農業収益の向上を図ることができ、3の目標に資する。	農業者と給食事業者との調整を図り、給食に出荷しやすい環境整備の強化を図るとともに、農業者とスーパー、コンビニ、飲食店等との丁寧なマッチングに努めることで、指標の数値が改善すると考える。
				KPI	地産地消を推進するため給食などでの日進産農産物の利用を進め、また、農産物の販路を拡大することで、農業生産及び農業収益の向上を図ることができ、3（施策3-1）の指標に資する。	
5	6次産業化推進事業	農政課	本市の特性を生かした新たな農産物や6次産業化の方向性を調査・研究するとともに、農作物の栽培、加工施設等の相談や補助金等を通じて、意欲のある農業者等を支援します。	数値目標	6次産業化商品の開発・販路開拓の支援を行い、収益性の高い6次産業化を推進することで、農産物の生産拡大につながり、3の目標に資する。	農業者だけでなく、アイデアや加工、デザインなどのノウハウのある事業者、大学等が連携して商品開発・販路開拓を行い、より消費者ニーズに合った人気のある商品を効率的に開発・販売することで、指標の数値が改善すると考える。
				KPI	6次産業化商品の開発・販路開拓の支援を行い、収益性の高い6次産業化を推進することは、活性化対策の柱の一つであるため、3（施策3-1）の指標に資する。	

番号	事業名	所管課	事業内容	数値目標又はKPIに資する理由		数値改善のための取組や道筋
6	勤労者支援事業	産業振興課	求職者が職業紹介を気軽に受けることができるよう、名古屋東公共職業安定所と共同で設置した日進市地域職業相談室において、知識と経験が豊富な相談員による職業情報の提供、職業相談及び職業指導等の就労支援を行います。	数値目標	求職者に対し就労支援を実施することで、市内企業の人材不足の解消につながることから、【2】【3】の目標に資する。	日進市地域職業相談室の周知により、市民の相談件数の増加を図ることで指標の数値が改善すると考える。
				KPI	求職者に対し就労支援を実施することで、市内の雇用の増加につながることから、②（施策3-1）の指標に資する。	
7	商工業振興事業（地元企業就職ガイダンス事業）	産業振興課	周辺自治体と連携し、地元企業就職ガイダンスを実施します。	数値目標	地元企業就職ガイダンスを実施し、学生や求職者に市内企業を知ってもらうことで、市内企業の人材不足の解消につながることから、【2】【3】の目標に資する。	市内企業や学生のニーズを反映した適切な実施方法を検討することにより、出展企業及び参加者の増加を図ることで指標の数値が改善すると考える。
				KPI	地元企業就職ガイダンスを実施し、学生や求職者に市内企業を知ってもらうことで、市内の雇用の増加につながることから、②（施策3-1）の指標に資する。	
8	企業誘致促進事業（産業立地推進事業）	産業振興課 企業誘致室	企業誘致の方針を研究し、優良企業の誘致について市内商工業の活性化と両立するよう、戦略を立て、実施します。 また、愛知県企業庁と連携して一団の企業用地を新たに整備します。	数値目標	新たな施策の展開や企業団地開発により、市内への企業誘致、市内企業の増設などを促進することは、本市の商工業の活性化につながるため、【2】【3】の目標に資する。	企業誘致を促進するため、市内で企業が立地しやすいような、新たな施策を展開する。 また、愛知県企業庁と連携し、一団の企業用地を整備する。
				KPI	新たな工場や研究所などが建設されることで、雇用の場が生まれることから、②（施策3-1）の指標に資する。	
9	企業誘致促進事業（創業支援セミナーの開催）	産業振興課 企業誘致室	市内での起業、新ビジネスの誘致等を促進します。	数値目標	日進市商工会と連携し、創業支援等事業計画に基づく創業支援セミナーを実施することは、本市の商工業の活性化につながることから、【2】【3】の目標に資する。	継続して創業支援セミナーを実施するとともに、日進市商工会と連携して起業経営相談を開催することで、市内での起業を促し、指標の数値が改善すると考える。
				KPI	日進市商工会と連携し、創業支援等事業計画に基づく創業支援セミナーを実施することは、市内の雇用の増加につながることから、②（施策3-1）の指標に資する。	
10	市民自治活動推進事業（大学連携協力推進事業）	市民協働課	大学との連携協力の推進により官学連携を図り、相互の課題解決に取り組んでいきます。	数値目標	市内外の多くの大学と連携協力協定を結んでおり、大学と連携事業を実施し大学の持つ知的財産や人材、学生の力といった資源を活用することで【4】の向上が期待できる。	連携協力した事業の見直しや大学へのヒアリングを行うことで、相互の協力体制が強くなり、より効果的な連携協力を図ることができる。
				KPI	市内外の多くの大学と連携協力協定を結んでおり、大学と連携事業を実施し大学の持つ知的財産や人材、学生の力といった資源を活用することで①の向上が期待できる。	

●主な事業（施策3-2）

番号	事業名	所管課	事業内容	数値目標又はKPIに資する理由		数値改善のための取組や道筋
1	道の駅整備事業	基幹施設整備課	道の駅の整備を進めることで、将来のまちの持続的な発展に向け、子育て支援、防災・減災、農業振興等の地域課題の解決に取り組むとともに、地域活性化の拠点となる市民交流やにぎわいの場の形成等を図ります。	数値目標	道の駅に飲食施設、農産物直売・物販施設等を整備し、当該施設が市内の農家、事業者等の販路として活用されるため、【1】から【4】まで全ての目標に資する。	道の駅の整備を進め、地域活性化の拠点として開駅することで、指標の数値が改善すると考える。
				KPI	道の駅の入場者数は、3-2①の指標に含まれる。また、道の駅の飲食施設、農産物直売・物販施設等が活用されることで、3-1①の指標に資するとともに、道の駅で市民が直接雇用されることにより、3-1②の指標にも資する。	
2	東部丘陵地西部地区活用事業	都市計画課	市有地の東部丘陵地西部地区について、整備方針等の検討を行い、環境共生拠点としての整備を進めます。	数値目標	東部丘陵地の豊かな自然環境をしっかりと保全しながら、多くの市民が憩い、親しめる自然と調和した魅力的な空間を整備していくことは、にぎわいのある良好な都市空間の創出につながるため、【4】の目標に資する。	整備方針の検討から順次、関係者との調整を密に行いながら整備を進め、具現化を図れたとなれば、指標の数値が改善するものと考ええる。
				KPI	-	
3	スマートインターチェンジ整備事業	基幹施設整備課	（仮称）東郷スマートインターチェンジの整備を進め、市内を通過する東名高速道路へのアクセス性向上による利便性の向上や、周辺道路の交通渋滞の緩和とともに、周辺企業の物流効率化等企業活動の活性化を図ります。	数値目標	スマートインターチェンジ整備事業により、市内東部地域におけるスマートインターチェンジを生かしたまちづくりの展開を行うことができる。利便性の高いまちの形成は、にぎわいのあるまちづくりに寄与すると考えられ、【4】の目標に資する。	スマートインターチェンジの整備を進め、円滑な事業の進捗を促進することで、指標の数値が改善すると考える。
				KPI	スマートインターチェンジを整備することで、周辺観光施設に新たな玄関口ができることとなる。観光施設までの時間短縮、わかりやすさ向上は、観光施設の利用者数増加に寄与すると考えられ、3-2①の指標に資する。	
4	市道赤池駅前線整備事業（赤池駅周辺再開発事業）	道路建設課	赤池駅周辺地区において、既存の駅前広場の活用や駅前の交通渋滞を解消するため、駅前ロータリーの再整備を進めるとともに、市街地再開発事業等による土地の高度利用を検討し、多様な利便機能の向上をめざします。	数値目標	市道赤池駅前線整備事業については、日進市の玄関口の一つである赤池駅の駅前道路を整備し渋滞解消や、歩行者、自転車の安全な通行を確保し道路利用者の利便性を向上させることが【4】の目標に資する。	事業計画の事前協議等を進めるとともに、地権者等の理解を深め、区画整理事業の事業化を推進することと、組合設立後は、組合事業への指導・監督や補助金の支出により円滑な事業の進捗を促進することで、指標の数値が改善すると考える。
				KPI	-	
5	北部土地区画整理組合推進支援事業（北のエントランス拠点整備事業）	区画整理課	北部地区は、北のエントランスと位置づけ土地利用を図っていく地区であり、住宅地、生活利便施設誘致を見据えた土地区画整理事業を推進します。	数値目標	住宅地、生活利便施設誘致を見据えた土地区画整理事業を推進することで、広域からの交流人口の増加や定住人口の流入を促すことができる拠点の形成に寄与すると考えられるため、【2】【4】の目標に資する。	事業計画の事前協議等を進めるとともに、地権者等の理解を深め、区画整理事業の事業化を推進することと、組合設立後は、組合事業への指導・監督や補助金の支出により円滑な事業の進捗を促進することで、指標の数値が改善すると考える。
				KPI	-	
6	庁舎建替事業（老朽化庁舎等建替整備計画策定事業及び推進事業）	財務政策課	老朽化した庁舎等について、効率性、合理性に鑑み必要規模を検討し、計画的に建替えを実施します。	数値目標	建替えにあたり、市民の意識調査をして、より利用しやすい庁舎を目指すことは、住みよいまちづくりに寄与し、にぎわいが生まれることから【4】の目標に資する。	市民の意識調査を行い、どのような庁舎が求められているかを調査する。
				KPI	-	
7	福祉会館施設環境改善事業（福祉会館再整備事業）	福祉会館	福祉会館が市民の身近な福祉の活動拠点として活用できるよう、福祉会館の現状を整理して、利用者が快適に利用するための、管理・運営体制の充実に努めます。	数値目標	福祉会館を市民の身近な福祉の活動拠点として活用できるよう整備することは、利用者が快適に利用することができることに寄与するため、【3】の目標に資する。	利用者から現状に関するアンケートをとり、今後の方針策定に役立てることは快適に利用するための管理・運営体制を図ることに寄与し、指標の数値が改善するものと考ええる。
				KPI	福祉会館を市民の身近な福祉の活動拠点として活用できるよう整備することは、利用者が快適に利用することができると思われるため、【施策3-2】の指標に資する。	
8	スポーツ施設環境改善事業	生涯学習課	総合運動公園等スポーツ施設の従来の特徴を生かしつつ、より幅広い世代に親しまれるような魅力的な施設となるよう整備を図ります。	数値目標	総合運動公園等スポーツ施設の従来の特徴を生かしつつ整備を行っていくことで施設利用者が増え、活力が生まれるまち創りに繋がることが期待できるため、【3】の目標に資する。	老朽化が進むスポーツ施設の改修を進めていくことで施設の認知と利用者が増え、指標の数値が改善すると考える。
				KPI	総合運動公園等スポーツ施設の従来の特徴を生かしつつ整備を行っていくことで施設利用者及び観光客が増え、活力が生まれるまち創りに繋がることが期待できるため、3-2①の指標に資する。	